

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 北海道札幌市中央区北3条西7丁目
管理機関(代表の機関)名 北海道教育委員会
代表者名 教育長 倉本 博史

1 管理機関

①管理機関(市区町村・都道府県)

ふりがな	しんひだかちょう
管理機関名	新ひだか町
代表者職名	町長
代表者氏名	大野 克之

②管理機関(産業界) ※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	じえいえーしずない
管理機関名	J Aしずない
代表者職名	代表理事組合長
代表者氏名	片岡 博

③管理機関(学校設置者)

ふりがな	ほっかいどうきょういくいいんかい
管理機関名	北海道教育委員会
代表者職名	教育長
代表者氏名	倉本 博史

2 指定校名

学校名 北海道静内農業高等学校
学校長名 佐藤 裕二

3 事業名 地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～

4 事業概要

(1) 事業概要

北海道は、日本はもとより世界の食糧基地であり、その中で、日高地方は日本最大の馬産地でもある。日高地方に位置している新ひだか町は、人口減少等により、将来、基幹産業を支える人材が不足し、地域産業が衰退することが危惧されている。そのため、

地域産業の持続的発展をけん引できる人材の確保・育成が急務となっている。このことから、地域の産業界（JA、JRA等）や自治体（新ひだか町長や北海道全体を見渡せる知事部局（農政部）が全面支援）、学校（静内農業高校は、全国一の第一次産業集積地である北海道にあり、園芸・食品・畜産・馬産、農業を支える人材を総合的に育成している国内随一の高校）、これら三者が協働で人材育成を図り、地域創生につなげる事業とする。

(2) マイスター・ハイスクールCEO

ア 氏 名 桑名 真人

イ 前 職 北海道農政部生産振興局技術支援担当局長

ウ 業務内容

- (ア) マイスター・ハイスクール事業推進委員会の委員長として、「マイスター・ハイスクールビジョン」の実行のための中核となり、職業人材育成システムの構築を目指すとともに、指定校における取組を統括するコーディネーターとしての役割を担う。
- (イ) 学科や年限の改変も含めた教育課程の刷新の方向性について、大学や研究機関、産業界との連携等を行う。
- (ウ) 専門的な知識・技術等に基づき、指定校教職員の資質・能力を向上させるための指導・助言を行う。

(3) 産業実務家教員

ア 氏 名 中西 信吾

イ 前 職 静内種馬場軽種馬生産技術総合研修センター・種馬課

ウ 業務内容

- (ア) 担当教科・科目 農業・馬学（3単位）、農業・馬利用学（3単位）
- (イ) 教員対象の校内研修の講師
- (ウ) 軽種馬生産に係る実践的な支援
- (エ) 放課後における馬術部に所属する生徒への支援

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

学校設定教科・科目を開設している

イ 教育課程の特例を活用している

6 事業の実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

7 令和5年度の実施計画

- (1) 専門的知識・技能を有する職業人材を活用した講義及び実践的研修
- (2) 研修(ICT, IOT を活用している農業施設，農業機械を实地視察，研修)
- (3) 施設見学及び実習など施設・設備の共同利用（産業界，農業関連施設，大学等）
- (4) 特別支援学校と連携した「乗馬交流（馬セラピー）」の実証研究
- (5) デュアル派遣実習及び農業インターンシップの実施
- (6) 産業界等と連携した食品に関する新たな商品開発・販売，収益活用のシステム構築
- (7) 海外の学校への訪問交流事業

(8) キャリア・パスポートの活用（指定期間において継続して活用）

(9) 教育課程の変更及び指導内容の改善・充実

ア 食品科学科 2 年生，3 年生における「商品開発Ⅰ」及び「商品開発Ⅱ」の改善と充実

イ 食品科学科 2 年生，3 年生における「デュアル派遣実習」の実施方法の改善と充実

ウ 食品科学科，生産科学科の 2 年生，食品科学科，生産科学科 3 年生の共通選択科目として「英語研究」，「数学研究」の改善と充実

エ 生産科学科における「栽培と環境」の改善と充実

オ 食品科学科，生産科学科の 1 年生，食品科学科，生産科学科 2 年生の共通選択科目として「応用数学」，「応用英語」の導入と実施

(10) 学校設定科目

ア 商品開発Ⅰ

(ア) 学年・学科・類型 2 年食品科学科（乳・肉・農産加工コース）

(イ) 単位数 2 単位

(ウ) 科目の目標

商品開発に関する課題を発見し，商品の企画から開発，販売，分析までの基本的な活動を行う能力と態度を身に付けるとともに，地域資源を踏まえた新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることを目標とする。

イ 商品開発Ⅱ

(ア) 学年・学科・類型 3 年食品科学科（農産食品コース，畜産食品コース）

(イ) 単位数 2 単位

(ウ) 科目の目標

商品開発に関する知識と技術を習得し，応用出来る力を身に付けるとともに，農業や農業関連産業に携わる者として，科学的な根拠に基づいて創造的な商品開発と市場競争に対応出来る力を身に付けることを目標とする。

ウ デュアル派遣実習（2 年）

(ア) 学年・学科・類型 2 年食品科学科

(イ) 単位数 1 単位

(ウ) 科目の目標

産業現場での実習を通して，学校での専門学習の成果を実社会にフィードバックし，深化するとともに双方向の人材育成を図り社会性を身に付け，農業各分野の技術や経営管理に活用する態度と能力を育てる。

エ デュアル派遣実習（3 年）

(ア) 学年・学科・類型 3 年食品科学科

(イ) 単位数 5 単位（うち 1 単位を選択で長期休業中に実施）

(ウ) 科目の目標

産業現場での実習を通して，学校での専門学習の成果を実社会にフィードバックし，深化するとともに双方向の人材育成を図り社会性を身に付け，農業各分野の技術や経営管理に活用する態度と能力を育てる。

オ 英語研究

(ア) 学年・学科・類型 3 年食品科学科，生産科学科

(イ) 単位数 1 単位

(ウ) 科目の目標

様々な事象に関わり、英語特有の見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

オ 数学研究

(ア) 学年・学科・類型 3年食品科学科、生産科学科

(イ) 単位数 1単位

(ウ) 学習の到達目標

様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

カ 応用英語（1年）

(ア) 学年・学科・類型 1年食品科学科、生産科学科

(イ) 単位数 1単位

(ウ) 科目の目標

様々な事象に関わり、英語特有の見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

キ 応用英語（2年）

(ア) 学年・学科・類型 2年食品科学科、生産科学科

(イ) 単位数 1単位

(ウ) 学習の到達目標

様々な事象に関わり、英語特有の見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

ク 応用数学（1年）

(ア) 学年・学科・類型 1年食品科学科、生産科学科

(イ) 単位数 1単位

(ウ) 教科の目標

様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

ケ 応用数学（2年）

(ア) 学年・学科・類型 2年食品科学科、生産科学科

(イ) 単位数 1単位

(ウ) 教科の目標

様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を育成する。

<添付資料>

- ・令和5年度入学者教育課程表(案)（食品科学科・生産科学科）
- ・令和5年度学年別教育課程表(案)（食品科学科・生産科学科）

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
倉本 博史	北海道教育委員会・教育長
生田 泰	北海道日高振興局・局長

大野 克之	新ひだか町・町長
西村 和夫	J A しずない・副組合長
水野 治	北海道経済連合会・専務理事
河原 秀幸	新ひだか町商工会・会長
松井 克行	北海道農政部生産振興局技術普及課・首席普及指導員
遊佐 繁基	日本軽種馬協会静内種馬場・場長
諏訪 勝巳	国分北海道株式会社・代表取締役社長
鈴木 一由	酪農学園大学・獣医学群獣医学類教授
森 順子	株式会社ハッピーアロー代表取締役
佐藤 裕二	北海道静内農業高等学校長
松原 千尋	北海道静内農業高等学校PTA副会長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
桑名 真人	北海道静内農業高等学校・マイスター・ハイスクールCEO （北海道農政部生産振興局・技術支援担当局長）
中西 信吾	北海道静内農業高等学校・マイスター・ハイスクール産業実務家教員 （日本軽種馬協会静内種馬場・獣医師）
藤井 隆史	北海道教育庁学校教育局高校教育課・指導主事
深戸 紀明	北海道教育庁日高教育局高等学校教育指導班主査
中村 英貴	新ひだか町総務部まちづくり推進課・課長
北島 潤	日高農業改良普及センター・所長
佐久間信行	北海道静内保健所・所長
小笠原 誠	北海道経済連合会・食クラスターグループ部長
石丸 睦樹	日本中央競馬会日高育成牧場・場長
小島 謙治	日高軽種馬農業協同組合・業務部長
萩庭 寿人	国分北海道株式会社・人事総務部長
渡辺 勝造	新ひだか町商工会・事務局長
加藤 和則	北海道静内農業高等学校・教頭
中村 玲子	北海道静内農業高等学校・事務長
平岡 賢一	北海道静内農業高等学校・農場長
須古 洋晴	北海道静内農業高等学校・教務部長・英語科主任
加藤 真	北海道静内農業高等学校・進路指導部長
八尾健太郎	北海道静内農業高等学校・食品科学科主任
野坂 涉	北海道静内農業高等学校・生産科学科主任
澤田 英典	北海道静内農業高等学校・普通科主任
小林 忍	北海道静内農業高等学校・馬事担当
田中 彩佳	北海道静内農業高等学校・e コマース担当
長谷川明美	北海道静内農業高等学校・情報担当
岩瀬 大河	北海道静内農業高等学校・情報・庶務担当

土田 隆太	北海道静内農業高等学校・庶務担当
-------	------------------

9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（5年4月1日～6年3月31日）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①職業人材による講話		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
②ICT, IoTの研修			○		○		○		○			
③施設見学及び実習		○	○	○	○	○	○	○				
④ホスマンヘルプチャートの作成		○	○	○	○	○	○					
⑤馬キッズ探検隊			○		○		○					
⑥商品開発・販売の基礎研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦海外の学校との交流		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧キャリア・パスポートの活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者 ・ 免税事業者 (□で囲むこと)